開職部に調査官の全般関議を開い一些により制造方針を右右される船

|政権構の改革に闘弾し過ぎ局||東端圧な革新政策の貨場は困難

調査局では十一日午町十時局内 配地から反動論が相當にあるの 政府部内に調真局の水団性とい

り、斯の如きことは調査局間設の の調査方針にも變化を來す恨れあ

官を無住所大臣たらしめること。なるとの見地から、無任所。

熱心な要求があるが、これに割一に調査局長官も代り能つて調査局

**要近く帰尾成立の段取りと呼され** 

エート南國政府間の海軍交渉は

建造する希望を得べられる

ロンドン十日同盟】駐英雄一大

英蘇會談

- 換を遂げた、加して本日の金曜曹

縁においては結論を得る弦に主ら

**治局、四勒局、印刷局、则** 

趣旨を徹底

の可否について職意なき意見の交。設直は省の應合その他行政機構の

**今後の成行きは注目** 

けふ調査官の全體會議で協議

状總領事館前に集合

倒日本」を高唱しながら氣勢を揚ぐ

警戒の憲兵と小競合後解散

化せられるに至った、吾人は慶費 不徹は午後六時上り治外法協能課へきである。」 置を述べた、何惟田 いず日本の豊滿國策遂行に邁進す 時期に際し、講洲國産既のみな き第二の南洲建國とも群すべ

千の支那人學生

學生運動南京に飛火す

地方事務所長、在海特務機關長 職後の日満人指導の見體館方能とを決議すると共に、治外法能 明領事、各省日本人總務聽長、第一 低端型人指導流液の低にある

東局、福盛、全議福事館、特別市 日本人首編者約三百名を出集して

南京十日同盟】十日正午頃約一千名の支那人學生は南京の帝國總領事館前廣場に集合「打

せしめられた。、我需領事館では直ちに國民政府外交部に對し嚴重統証すると共に今後断かる事作の庇護を防止する際要求 一本』を高唱しながら總領事舘に迫らんどし、支那側警戒憲兵に阻止され小競合の後解

さらにこれが心偏となれ、画面を記であった國有財産法もこの程度積

台越と同様土地所有圏を認めない、断様能は認めるが、將来は内地、

疑问院館級を発けた。十一日午期一點らく十二日とこる版明報を発達を選出を訪り末定であるが、館別す

から實施

# 四南派要求を

は正日を思いてゐたが、師氏は十

伊大使、英に叩きつ

りこの日午側十一時から夏城軍 門外京家直提事或輪場で神饌事 窓日、京都道芸術では前別

めづらしく、雪がやんで、青い

暦二年の初春は來たのであつた。 やがて、その欣びのうもに、建 のお請求の一通をおさめて、 からいふ素苷を強へようと をおさめて、 をおさめて、 を を を を の の 一行は、 その 数

誰も摩測して

ニタ家

3分於歸東 3分於歸東 常経験等 .

**のるこりし、政府院の釈迦藤敬郷。郷な反り窓向す妻明してゐる、こ一の疑問ありと見られてゐるとの意向が、ことは好ましからすとして相當編。明するや舌やについてはたほ多大に研究を否慮し、台灣總督に武団。暇立した際、これを武国郷に殿す「て同郷督が果して龍郎に鮮魚を変[東京電話]軍部内には微妙な関」の一部には那角台灣總督文宮郷が「の宏』は中川豊胥自身にも反映し** 

貴院刺選が反對

何應欽氏と會見

【恵京十日同盟】 駐支大使館附西 十一時に寶楽部長吳脈島氏と會見

みが調和し、その調和の中に多数 艦の繪鑑の大阪調である、これに一般の繪鑑の大阪調である。これにみの出版がながれてみ宛然一 虫菊の鼠つ自な花が今を盛りと時 き聞れ、これに黄金色の変の部な

一校、海軍飛行場連結工場などをみ 明かした総督は、十一日朝八時宿 心とした西州島六十餘里の半ばを 突破して西錦浦の漁村宿に一夜を **岩篋するが如き渡拳山の運搬を中** 



そして、意味門の策えへが、 向のうはさが、富 て來た北國の

非無蓄

斯· 斯· 西· 西· 西· 武村 高· 志· 武村 高 虫ラブア 虫京南

【濟州岛にて大野特派員最高】 部落等を視察

(149

劑虫殺力强

-Jk-h

リ 存に部品業店貸育・店要屬全

情券(編) (運) gg 债券投資成功法

春は南へ(こ 越路篇

畵 作

がついいた。「越色の空には、 小丸山の麻密は、萬丈の雪の底一套飾りして、 『さては、御教堂の宮下』 西側などは、干ど

と、房の人々は、建かに色めき 心ちや いであるので 75 つた正信房は ものやうに、

「えつ、御教堂の勅使が?…だか、その賜を聞くと、

まであつた。 出した。

力、强 剤虫殺

伊佛英日

許特喜專

+

全完虫鞭

**電子の大臣政治の事の今後の成行** では根宮住日すべきものがある

南班とし國家の大局より國政の

**健康を明さつけ次の如く述べたと** 

事行動停止せずば

**灰蔣軍 ご認**む

政治的指衞に努めてゐ日间間」電星政府は西

際商祭氏宛て次の別き通道を選 将氏が陳氏に通電

制裁案を撤回しなければ、 天地支黃

ンは南米諸國の職盟雌脱を匂は

エチオピア問題の感覺には愛

て、今すぐこれへおいでなさる。 源長 十一月大

**新鲜合同市氫社長 十月午** 円丈 人域中十旦夜 人域網鮮ホテルへ (1日本少年開建車長)

「えつ、御下向ですか」

御物使だ。 「シャント音報とは、

市路を使かうとしてゐる、歌

厭邪のうちへ、春を告げるぞうに

年最の家來たちは、表へ贈って

長寒岡二郎氏の二 造製。手軍

## 戸張氏の設計で八月に完成 京城府が灼熱地獄に備ふ

延禧町の强盗犯人

目星がつき船で捕

共犯にも手配を發す

に駐鍋中だが、開師の来城を渡

原城に立添り目下長沙町炒心

の脱髄地忠南方面へも取押への手

嬉しや昇給

竹內時計

メガネ

**兄城府衛生當局** 

**小當の金を排ふな** 

角關係に悩

女死を企

元妓生の金連花さん―

冷い夫の態度を恨み

理調町八〇平程完氏基金妈被

妾元妓生造蓮化さん(き)が服務、

京日 こども大會

はらしいプログラムで飾る

 **ド沖を航行中、甲板に黒セルの上** 

臓なことには船の名簿には同人に

故麥遷醬伯は山

五千餘名を表彰

專賣局の全鮮功勞者

九周年記念式に

**のか、水上署で取調べ中** 

夏の鍾路に

明水臺一帶

朝鮮に深い關係

取扱、取締に遺搦なきを期し火一今度本町二の丸一曼服法を買入 ことになった、同所長西土さん

を制作中の訃報は構まれてる

**が戀の若者** 

八妻に駆乱 遂に警察沙汰

> 白書通行人に 手斧を突つ!



手襟をつきつけたので、通行人

盗んだ物、買つてゆけ

に異常を生じパコダ公園で大演説

強比劑より卓越な効あるを信じ諸賢に勧める處であるり外國強壯樂等に比して美米にして効力迅速なる故に在ニクを本人が服用したるさころ漢方強壯樂より輕便にしニクを本人が服用したるさころ漢方強壯樂より輕便にし

即無代進星)

輝と人生』の講演 今、明日二回妙心寺。 文何深 皇軍如星無不駐、

大、流中高を黒形水、或濁或荷無限天開大黒河、地呼蘇納列家大 黒河大 黒 河

過局では客貨車の新造修識をの

**鐵道局工場に** 

艦隊は六月末頃最海に人志士 八月末鎭海へ

久保繁雄

恶醉

へあれば!

张忠信町二〇八祖紫然(元)—假

鍾路署で御用

四人の少年スリ

(書間) 入塲無料 會

りナ用無符多ル優:神経・効実 店理代 慢性胃病 京城 斯井響島 本舗 限田春日堂大樂房京城 木岩蘭 賈田 飛放れたキンドギド驚 高貴菜一度服用せば 病に水年苦した人 薬 中百条百八二左班下性慢性急

%府立病院 御用達 

長期間将士 丁丁 ト 選出季無加 エ ア 東島 五 河 ケ 先 先先先先 生 生生生生 推 本豐名 沙街永刊數彬 先先<del>先先先先</del> 生生生生生生

血强壯劑参茸卜 的最高級藥



宝澤商店



上費甘萬圓は起債認

匪賊と交戦

良好に向ひ、元武焼破し、十一 農林局長的監督で卒倒し庶養中の

過は頗るよ

金般天氣豫報に

※ 古トニッは其組織に於て一般虚弱體質腺病質神經衰弱症等の ・ ところである使用方法は※ 古トニクニ十五瓦を一日量とし水を加へ で百とし一日三回に分服せしめた ・ で百とし一日三回に分服せしめた ・ で百とし一日三回に分服せしめた ・ で百とし一日三回に分服せしめた ・ で百とし一日三回に分服せしめた ・ で百とし一日三回に分服せしめた

服用時患者ノ狀態 ¥ 數 服用日數 經 持續中 滷

恢復期 手術後 姙娠後期 分娩後 手術後 不眠蹇弱 十十 持 四日 日乃 至 古田 稍良良良 爬

浮腫頭痛

及有名頭店にあり品切の場合は直接細下命を乞ふ 

解けぬ『浿江の怪事』

U. 633

類(こむ初画町六一局比楽頭(も)の「たので成が宋を引き立てト案へ駐」に長さ八分説さ六分位の略を買は「

拠重方を願ひ出たが赤段に堪へら れず家出したものらしい このる夫の相語は六日開城署に

科學界の謎、鮎の棲息と この河選んで遡上産卵するフグ 全鮮に例なき奇現象

一十米の斷崖から 俗東江に墜る

取り組んだ三人の喧嘩男 一人はつひに溺死

> 群へ間伏中を思山著真に連捕され 野しをの金を作って長白縢十六道 受取っての鉛途長浦鎖の山中で穀

既面東新里市帰板の長男金明顯君

出たまと一ヶ月になるがまだ師ら一た

一噸の小型ヨットで

男敢な海の漫歩

睨まれた氣まぐれものの正體判明

**並京城に行ってくるといって家を** の実権職女子)は去る五月八日一

惠山翻了客年八月四日甲山都雲 一が万国の高誉金を惠山局から

新里安興魔(デーは近く形を勢行さ ひれた吉州郡生れ甲山郡大五川東

大邱】高雄郡茶山面松谷阊一二一まに墜落、鋭いた部落民が總田で「らぶらしてゐたが、いつかな職が」れることになり西大門形形所から 教師につとめ奇學情親子は教助さ れたが奇野文は建に離死した

無心に失敗

酸電式からの臨途間面座額減地先

茶山面水防縣

行右岸まで來た時、昨年五月

E面雑事制者脳文(Wo)の三名は去

**噴部を一変きに刺枝し強走した、で動眩上駄は不可能である一切けられ一脳に数を禁み兄の机の(ここと抜男と、の寒健があっつけられ一脳に数を禁み兄の机の(ここと抜男と、の寒健があ** 個の無心をしたがコッピドクはね なく最近節郷を思ひ立も腹に三十|死體引要人の有無について惠山客 へ開館があったが同人には基準支

でその日の器しに追ばれてゐるの (こと長男な)の家族があり極度

ゲペウ不法射撃

十九師團参謀部で

當時の眞相を發表

第中突加ゲベウより射撃を受け 方約一里半第十號界標的近を巡 「中間)以下十二名が長領子東 「中間)以下十二名が長領子東

一向い南地中(図塔線に到着しあらず)の時なり 射撃を受けし地點は十號界標に一、射距離は約七、八百米にして

、王申士は約三十分該地に停止 ・監視せるも何懸硬化なきなも 「後数山水上製の側位允になつた怪」 で変情な子と量見まり ・ 「一、「一、「一」であ水・「一」である水・「一」である水・「一」である水・「一」である水・「一」である水・「一」である。

【定例】既禄、精神の異狀的数件「海を出越、日本神治岸を採田して」(『三)の帝安維寺法園宮、盧磁といい。 カ三順の小コットで五日廿一日上 の一名黄海道生れ金銭善と金錫連

浮浪者狩り立てから發覺 上前はねた男白状

にひそかに手渡してしまつた、 をりません」と言ひのがれ、隠 にひた一萬個は面會に來た家族 にひた一萬個は面會に來た家族 **西国を安東に密輸した、勿論犯の李享善で昭和八年十月金塊一密輸犯人は黄海道安岳郡安岳**郡

眼を廻はす

つて感興地方法院で受理した小作 二百國六十銭を憂國鄰人會登川支衛突が減し過ぎる ――本年度に入 友管、図整質からの敵なを合せ計「廣興」あまりにも叡利と裏海月 の土服で開いた北滘は本規開作で、「南」からに別政管道に競友會「南」がある。 北滿皇軍へ献金

では定許のある法院

途に二十一對十九で 野害記をはじめ登記

小作委員

等約一級報館過水面過水里二四九ノ二三|管轄一味と共二酸品的資料も八日|の被害貧軍は非著建てた設備で行一新非實が觀覚するに至つた、即ち|あつた事が戦明するに至つた、金一次数な合義を使用してゐたが浮

徳祚一味と共に慶品故資者も八日

馬山の倉庫破り犯人送局

歌商会在第Col等は金塔菲一味の | に占島、事代は一般者を告げたが | 支配長は

一段階級と共に釜山法院馬山支艦(なるものであうが、安全を常備し一段階級と共に釜山法院馬山支艦(なるなかつた、右に託き溯田米倉

一般物質進水面進水里二四九ノニニ

金奉瑞(+)。同方奏淑(+)。当山府米

一面二十五個家族の総引で購入しまり一面五十銀円外配料は収置り

でついて担常能しい成から把行し、と思り平然たらものである 生意観度に続めてるた態線上、器 は金融の担害に対して歴境すれ には金の担害に対して歴境すれ はなかられるす気保育はの情報に対して歴境すれ はそれでよいではないか

# 咸興]急所を焼いた灸師にお灸 折角の雨も雀の涙

意地惡い空には雨はなし

つたらめ曹金得女は側面から侵入 胸側を握くといる乱器な療法を採 置きそれに胡麻油を塗って子宮の に二十五人の大豆粒大の芝草灸を され同女の脱出した子宮頭五ヶ所 (『た)から子宮脱田証の流舵を依頼和里を悲歌方で開画中河里再金得 めるがよる四月六日同郡施源面部 ・削から無覚許で灸營業を置けて 殿邑内胚院里金粉玉。しは十三

【開城】府四端月町六〇〇平相龍 | 炎を連載しついに五月二日死亡す 結缔織炎を起し更に急性化膜性膜 地方法院で課金八十四に處せられ るに至り洪源器で檢器、八日成則

| 大豆、陸留事も減収を売れまいと、四六波生悪魔族でよび二十九日波 | これが春田式を繋行 | 大豆、陸留事も減収を売れまいと、四六波生悪魔族でよび二十九日波 | 「電野」 慰黙に異格したで英第十 | 大豆に逃避りして、を吹いしてしまふので飛ぎれた。 | 投倉師に副鹿の上二人組織権 | 大豆にが成り | 「電野」 慰黙に異格したで英第十 | 大豆に逃避りして、を吹いしてしまふので飛ぎれてぬる | 大豆にが指入り | 「元山 ] し続歌を正に同られてゐる。響園郷乱に | 大豆に逃避りして、を吹いしてしまふので飛ぎれてぬる | 大豆に | 大豆に

荷望の雨が降りは したものし地面を

月ぶりで去る八日

から九日にかけて

**く愛色に附されてゐるが、殿木燮、に甁付映筒に繆頭せねばならぬの るところを削記複句は卓慰破察を目の邊り見るが如「釈迦は白八十傑、五月といへば俄」永興精育興色展示** 早魃に悲鳴の棉作

七日間の採箱入り ところを削記複金隊に見つかり

殺を防止せより

時候の變り目、或は飲酒其他の不攝生を犯す毎に、

工兵十九聯隊

昇格奉告式

袞せる患者に對しては、 速かにウラルゴールの短管十本入 與ふるが通例なり。故に再發の恐れあるもの、及び旣に再 び繁殖して圧盗しより、 R \*\*・・ 1 との関南は潜伏せる淋菌は、ここに生活力を復活し、 再粘膜の側面は潜伏せる淋菌は、ここに生活力を復活し、 尿道 び繁殖して旺盛となり、感染當初に劣らざる苦痛を患者に

或は中管十本人を使用して再發を防止せより

性の

療法

つつある。故に内服薬、或は洗滌、注入、注射薬等にて此面にあるにあらずして、尿道粘膜の側管を置食し、潜在し慢性癖に移行したのである。この慢性淋菌は尿道粘膜の表操性感染後、一二ヶ月を經過して全治せされば、既に

しかるにウラルゴールは敷ヶ月、或は敷年、十數年にわた の慢性淋疾を根本的に全治するは極めて至難の業である。

る慢性淋疾をも、治療し得る最も理想的の新薬である。

またも危機

府民の節水により

は一時間休まねばならの福地下伏一の節水によりなんとかこの危機を 蘇、第二水源地は五十分揚水して一は毎日空をにらみながらたと析民 流水が減つてきて終後連翹で辛う一切り扱けるべく心痛の態である かまたもや危機に淑してゐる、第一細さ、しかも騒江一日の使用館二 水源地貯水量流かに二萬二十四一十百屯内外であるので府水道係で |頻東浦| 牌く好天に府の上水道 | じて最大一千六百中を撮水する心 切り抜けにご苦心

道内の淋菌を死滅せより

然らざれば淋疾は根本的に全治せず

男子の排疾を急治するには、展道内の淋菌を

縺れた土地賣買 作業中止で上つたりの

海へ続き、資まぐれた海の機歩を一名襲な作者と激かのコット)―郷 良民を担致したとの最あり西候指目的としてあたこと物明、常局で「高護は海上漫步のコット」―郷 良民を担致したとの最あり西候指は「子の町や 5 美えて 1 左右 2 大き 1 左右 2 大

導官一行が追随中

六名の良民

朝室對咸商野球

**薬組靑年陽氣ではしやぐ** 

をヨットの中から眺めながら日南「暖路駐布房の豊岸十五道帯奥に各「安へたか結局五島三で研究が勝つ。」と、17年4世ノマミ国経暦」【惠山蘭』八日末明好に宮京下羅「午後三時宇から全殿祭中と「東京・東京・

Æ

の金塊密輸

重な調阅を行つてゐるが、五名と 船舶が多く非常時の折続であり旗 題だが最近日本近海に出受する怪 は一行の即かな海の旅に微音笑の

原内、部の地主、清州郡四州面台 ありつけないため同館代清州出職の連定郷中の日本職業館代と尉護。したところ職天五十餘名は寛厳に衆職を持ち本年三月から得大賦で、郷中遠に折合はず九日作業を中止業版を持ち本年三月から得大賦で、郷中遠に折合はず九日作業を中止 **炉患旅時中氏との間には同地主の| 所に大驟押しかけ媼談判に及んだ** 【清州】邑内石西町以南佐野の鐵|光氏が百二十名の鑑夫を使つて採 **龍十五百坪は坪三十銭を要求す | 結果、一坪二十銭の價格に落**要 鑛夫の强談で解決

**画館44彩読の京城、金鑑・著載校容 ることになった** ので話がまとまらず様み合ひ、 て圓編解決、十月から作業を進め

未とし、此の分末を狙うことす。 「様深遠佐に富む色素物とを化多的に結合してかり、特とし、此の分末を狙うを化多的に結合してかり、特別では、

接滅する事は不可能である。

【頭南浦】樹いこと

故にウラルゴールを敷本使用すれ

等人、尾で小いの添胎和物下に存在せる動物に を人、尾で小いの添胎が下に存在する動物に 部分につい、下がいかかかかしたり表現作用を をは、活動しつい、医時間におかりません。 ちに存解し、内容の形式は脱道動物の優様なる して終し、内容の形式は脱道動物の優様なる。 と雖も其の效果は官に着くべきものがある。 と雖も其の效果は官に着くべきものがある。 と雖も其の後根となば知識、中華の次ぎに長信する人を使用すべし。惡性か或は勧生かれた。 ば、初感染は勿論の事。たとへ慢性離治の掛抜

英米佛製法專賣特許

短颧三

- 本入(男子慢性周疾用) Ħ 三円〇〇 (郵便代用にても可)の

東京市日本福延本町 友 田 合 資 3 · 宣 記 · 世 社

電話日本橋(三八〇

外部へ流出し。其の作用は一回僅か数分である 内へ注入するも、内容が水溶液のために直ちに に満掃するに過ぎない。また、銀剛溶液を尿道 なせるも其の作用は、尿道粘膜の表面を一時的 之に割し内服薬を服用し、腺と共に尿道を通過死滅することが穏酸的に必要である。しかるに

断くの如き療法にては、粘膜細胞粗織内に宿在 繁殖しつ / ある所强なる淋鶥は、頚底短期間に

となり奇點形が父に加勢して奇點 ことから口論をはじめて殴り合ひ 行れれた面協議質員選挙運動の

熟睡中刺す

れたのを祭み、縁に児功を揮ひ極 【養天】僅か三十圓の無心を拒ま

の節題から治典正に真つさかさ一郎上常香八一は昨年四月遊蘭、ぶー・ベ・ウの不法射襲事件に関する

なく双健大喧嘩となり順か合つて「アバート」緊張層住露に業物上級したので一時間すつたところ間も「午前! 時過ぎ時内松島町一〇 他旭したので一時間すつたところ間も「午前! 時過ぎ時内松島町一〇 他旭 スの顕都を石で觀打したゝめ驕ぎ

由氏の質労職本縣天草地大仕生れ「子東方称「里半」における献験が「一、五月二十一日年間八時時前若てバート「数果居住露店業権」「職(軍総主國魔第十世界縣的立、長線、参釈部から九日左の通り継渡した「中間一時過ぎ市内松島町一〇地地」「羅第」去月二十一日の里巻展題「昭師調べい結果について十九帥駅

たるをもつて監視隊これに側板

定州少年殺し

即死せしめ姿を輸ました殺人郷定 | 日本を一脳、九州増端を建つてよ | 蝦り去られてあた金螺一番風の絽|から線鎖の火牢を纏勢衝りにして | 連機維候を突破し太平洋へ出て表 | ふ大観からはしなくも四年開墾に

臓品と知りながら

安値で買ひ込む

泥棒の上前かすつた米穀商三人

真鍮に化けた

上逃走した、安州器では時を終さ す型宣陣を張り顕珠中 げした魚類毀上金千九百回を湖取

朝は無理論者皆能

髾

の 東にて安全、携帯にも甚治使なり。 の 東にて場合の、 を制度にて関が用紙く使用法も働る も 制度にて関が用紙と使用法も働る も 制度にて関係の(推演集権の活物を を対象して、 を対象して、 の を表して、 の である。 の でる。 の である。 の でる。 の でる

□──三時間より六時間□──一回僅か二、三分が──一日一本或は二本

さいて思はずウヘッとピックリの 先生達は弱いですか」といると間 。 生徒といっても 高等料ですゾー ・それに概要さんの批釋つき

犯人捜査に大活動

活きた更紗模様――野薔薇の盛り

秦祖貿易 商 元 説明書迎呈

(外に大量人、病院用あり)

**原料口座・東京・一九三八** 

色の違つたものを使うと、どうかならないかと心配なさる方がありま

く鑑つた色のお化能をしてみたいとおつしやる方がございま

蝶々、毛虫、蜂などが出で、これ

使用する湯の車、何とかハップで「たちよいか(瀬戸病院長渡つよく)

なこと

るでせうか

顔を洗つた跡が大變

西はよい事があるが、素人満君の 悪くなる、ではどんな方法をとつ

後は大脈悪い、特殊な巫凰一さを励れ続とする。これも却つて からよ「様な事もあ」れもよくない、ひど、男は適で接谷は一様痒を止める。一個々の木の塊を入れたものなどど

れもよくない。ひどい男は酒で序

いる人
もつてまづから要へは経典単も

多少は カブレるが之にも 非常に 等を考へて 下さい、様は 勘でも に强くなるやうなものであります 【門】 三十二歳の男子、敷牟羽 「べつをっぽたかけて色々の楽人手席」とた遠離郷か添くなり大分藩、既で秀淵、悟り虔嗣の炎証を起し、人治後継い手はを只て顔を試き、敷牟羽 「べれたりするらしいですることを

たのを気にかけて色々の素人手幣

君の皮膚が腫々の刺腹に増して非

(答)

**潮戸病院長** 

たり色があせたりする事がありま

000 い扱取のイタク

いため一寸した石殿で洗りてもカ

深の ぬやハゼの水に上り駅は其芽 見でもカブレると云ふでゐる位の り立ての器物でカブレる、これは 既観な人と左程でない人とがある **人概の人がカプレる岩い人は洋の** と取った際に一つが高くなり序と たまらない、痒くと次に水間

に角眸 くて眠 れないので頭脳





お化粧法のみで不見なやうに言がされますない しては御自分のお肌の色に近い色をお選びになることです

かし最も自然なお比斯法としま

まったお顔の生地をかくすお化粧法とし

水バケを使ふお化雅法をします最

を整へ粉、証顔をつけました後を水パケに水を含ませ十分にならし

北化礁にはつやが出て本常

ご指導の帰じ育無好聞岩島先生

|鋤嚢的蟹が壁枝の生生であつた岩||繋のお響さん選で、可愛らしい新が、この度の霞の主彼はもと京城||縣光生が開かれた體育舞師こども ーキー・お話なごビツクリプログラム

モ やうになると特殊モスコーは官派 とがこの題ウラジオストックに到 四変のロシアの解氷船と六次の船 な膨となるでせる

コ ド

党でとてもすばらしいプログラム日午後一時から京城府民籍の大鵬

みなさー遠に永い間ご無逆状して

尿日コドモ會 一四日府民館で

底を貫くトンネルも出來シベリア 繋ぐ大きな道を置る計器がありす に追が通することになります さらにまたベーリング海峡の

山小県校太田先生の面目い産話も

ボバイな どのお 馴染トー

第

一覧じて、失法に於いては家中第一をためみ、技師のすぐれてゐるに になったと思った、武都としては、武合を望まれて、これは困ったと 北部は大守から後塵交異所とけに、至つて佞人である。

阿が勝てば、輝元の調整があるだ

無事に納まらなかつたらどうな

にも述べた如く、この時十六の若 親ほど担選がある。交兵衛は前 かし傲慢の男と見え、木剣把 置いたら自然に半年低で治りさる ず何酸する線な事を何もしない

顏色蒼白 戦合畵漫案新襲。感酬 (ゴイエイセワ)

懸げて、助名をあらはしたことな

まづ、當分は選盟域されたい、吾

元公の御酌はよしなにお取消らひは、目向殿に勝を纏り申す故、郷

を作れてきて、その彼は、珍味を

る程の智將であるが、又、一面我

とを望まれたと思ったが、節退し

が脱式部は、城内の町

負ける默契

人將でなかつた。當時、

石鹼で矢鱈に洗つても駄目です

いろんな薬湯も却で悪くする

顔色の蒼白いのは「れが療法としては其の脈体と思は」 本田 博士 | 東過度無極々の場合に乗るのでと)正しくし適度の無難歌夢を試み歌

笑ふと痛い

各—潮戸病院長 主要が薄くなるのは厳能に非 **ら組手紙では分りかねます全身** 

るべく遊音物を描ることが必要で





す化粧に就て



下がズッと居識れ何れもこの勝首 たが、縄元の左右には、毛利の臣

島後期く、背丈島く細形ではある でかて、南人は展開の中央にす

製馬人権の発許を勝を得てゐると

本人の肌にヒツタリレた無類の品質を創り上げ

(以來數十年の經驗と不斷の研究が、眞に日



**业るねでん込け溶が心良と究研の斷不もにけつ一** 

か

刺とした若肌を創したつとし その理由!

創を肌若 品一第洋東 9

6-121-1

./ 利勝の質賞

**選刺たる魅力的健康美を生むこと**ん、吹出物を解消して、お肌の生活力を旺んのを登輝して、シワ、タルミ、ニキビ、リバ の原料と優秀なる技術の合致が、强力な浸

何のつき、ノビを素敵によくし、 して百%の効果を發揮すること がなく、滑かな若肌を創るばかりてなく、 ツと爽かで、ベトつかず、クリーム負けの 基礎化粧料

京城

業

距

八百米代表 青地球雷男

大河內傳次郎 映畵十周年

◆男子中等尺校作券神宮健康、公會一間年を述べるので目前ではこれが保証中等校検選近で食どを出し港で 次郎は今夏人月で丁度月前経過十円「中華・大阪は今夏人月で丁度月前経過十円「中華・大阪は今夏人月で丁度月前経過十円「中華・大阪は大阪・大阪内敷」

女子中等學校第十八回全鮮

段三番 先

宇留水浩・夏目初子主演

庭球選手權大會 對局者の言葉

廿八日(個人戦)

運 動

込

廿二日まで本社運動部宛

『催一人で・・・・』と言った邪慨は

度胸者松元東の

ビックアップ

の戦に一度崩れをみせるが、今番橋本君(京轄)は九回の中代七回



**本紙愛讀者慰安** 

朝 

がおみ

S

44

老衰の豫防 豫防薬与じ 南大門通ルノ四五 東京銀座 新潮製藻株式會社 定價五0.100.100 白虎汁 藥品部

げよ日の丸

一種のてゐる。富江は二十二

百米

| 一度 | 単と点に機能に出記した しめた、雨来、十年大瀬内が月面| とがあるが、彼の真の意味での硬には勿論、日本時代殿県に残したとがあるが、彼の真の意味での硬には勿論、日本時代殿県に残したしから、雨水、十年大瀬内が月面

▲ユニヴアーサル・大谿谷の呼感▲伽画物、上から下まで 映圖檢閱日報(九日) **川川演奏會** 

かけようとしてゐる大綱内の目前

處まで食ひ込む

中距離、强い海外選手

二十一日 (日) 午期八

を浴び、その後頭洲獅栗中であつたが、内地への闘途ファンの馳思により再顧することに

蟹を迎へて本社では来る中七月干後七時半から京城府政部で愛護衛駅佐大館を明くことに半彫出身の唯一の舞觞レビュー皺として、内地でも総大な人気に包まれてゐる妻翁子樂城 なった、変揚子樂師繁は去る四月中旬から京城東洋師得に胡河の折連日藤館、講都の經濟

爆笑漫歲名人大會來源

丁七日夜七時半から府民館

ク日本選 の活躍機想



京一一一一一一

、腸粘膜よりの吸收速く服薬塑朝尿

本

1

Ø

は藍色に變じ服きリベール臭を放





心世保衣郎作品。

ん下お旦那

ールスターキャスト 族 會 議

座科 婦人科 壹泊金式円三拾銭

看草映画劇場

淋 、薬効を確實に識るにはリベールの 薬後に日を追つて黴菌の滅び行く 服薬前と内服後の尿を採り顯微鏡 尿道を使しつゝあつた無數の微菌 現象を視る事が出來る。 にて比較檢査を行ふのが早道で服 うみ去り痛み快よく消散する 由り體外へ洗ひ出される、由つて は服藥後勢力衰へこの殺菌性尿に つて排出し此時已に快蔵を覺ゆる 藥の撰擇を誤るな

**今や輸出先二十ヶ國に及ぶのも蓋し絕大の信用を博し旺んに賞用せられ** の需要激増し各國の市場に於ても亦 の製剤に苦心研究したのは只此點の ||變白色粘液を分泌する特製リベール||何日服用するも容態に變化なく不相 の連用に依つて早くも薬が慣れ其後 來の治淋薬等は多くの場合四五日間 單味の白檀油球やパルサム球及び在 みであつた。今日世界的にリベール

其効果の特に優秀なる爲である。



本舗より直送す (送料不要) 名あれ。内地、瀟洲顱、海外到る處

本 舖 大阪市東區南久太郎町 竹 村製劑所 振替大阪三六〇番

價薬

七日中 三岡

计十 七三 日日



は書店へ!!

後悔先きに立たす。今すぐ本社又

で記述の書がこれだ! での副書界を展開した名士敬前家月を振 近の副書界を展開した名士敬前家月を振

東然人気沸騰・追加注文治々大海到! 東然人気沸騰・追加注文治々大海到!

秋千 田富

**箱口** 

8 忠

安全にして且

つ合理的處方

能を正常に復し、 て、胃腸の生理的機 及び蛋白質を消化し を防止して有害細菌

鸆

めます。本剛は小兒 め、有害細菌による

腸内消化作用ご相俟

ものであります。 科學的の基礎を持つ 法即ち老衰の豫防に によつて、便秘を除 酸菌による整膓作用

**去することは、長藤** 

中毒症狀を消退せし **腸機能を正常ならし** 勝内清淨効果を收め して、整腸消化及び 害、副作用を伴はす

ることが最も

菌發送在

試み

を死滅せしめ、澱粉

らねたる乳酸

腰を頭か

既を頭かにせの私學的根

士によって、

X

ナニコフ博

近代に到り、 り應用せられ には、古代よ

9維新英傑

二十 しょ 産見り 肌をながめた大乃木の心中は以如に? 類を際前は? 金州城外に許を賦する典の旣癒、二〇三 霊相の磴を変の二克を疵死させなければよらなかつた人間乃木着典のに落されたのよ。

**舷を相導す歴 部形、鬼をも泣かす日本海大道脈の幕は切つの疾感!** の疾感!

に集んだ変見の歌をながめた大乃

H

菊池 寛先生畢生の大業

四十共刊夕朝 **于リ 東月** 由音 4.2 人 月 2 年間 中之三月4 人 5 日 日丁 - 國平太后末3 武界日城以 大台雲今 所行發

経費文学即大好評全國を風靡。

を表生のである。 本前に既に、無を呼び、今や嵐の如く費れ出した。面白くて涙くまし、二將、と大戦史を讀い! 海軍記念日を祝して、第二回配本「東郷平八郎乃木希典」は、配接家庭から本社へ注文大祭野、強送部は大…鳴の大祭派!

Ę

有害細菌に起傷所腐敗・異

腸カタル -葪 症

繋する

諸疾患

の治療と豫防

因して腸内に

ける腐敗・異常鹽酵 用すれば、膓内に於 ビオフエルミンを應 に乳酸菌療法劑たる 良其他諸般の下痢症 **酸酵性下痢、消化不** 急性。慢性勝カタル

ヒも服用容易です。

安全に除去します。 之に伴ふ腹痛、裏急

後重、腹鳴、倦怠感を

疾 1 æ 兒

鶋 Ą

用容易にして安全無 榮養障碍、發熱等の 粘液便。不滑化便) ビオフエルミンは服 消化器障碍に對し、 のみならず食慾不振 **無便。水樣下期便。** 乳兒、小兒の下痢症

> 便 秘

症

存せる糖化菌による 力なる整鵬及び制腐 主劑たる乳酸菌は塩 ピオフエルミン中の 常習便秘、或は一般 に起因する頑固なる 鵬內腐敗。異常廢酵 る便秘症に對して、 に消化器障碍より 制酵作用を有し、併

フ博士の唱導せる乳

より、夙にメチニコ 來を認め得る事實に

なし、荣養分の吸收 つて、消化を良好と

を佳良ならしめ、蠕

通を促進せしめます 動官能を調整して便

衰

性は有力なる老妻の 登據であり、肝臓機 動脈のアテローム變 能障碍は動脈のアテ ローム變性を惹き起

に肝臓機能障碍の招 して便秘症には明か し易からしめる。而

であります。

老 症

町修道區東市版大 店商衛兵長田武器 元 蜜 費 町番二艦田林布戸神 所驗實生衛戸神器 元 造 製

阿本岛禄本日市京東 店 商 衞 兵 新 西 小器 店理代東關

36 808(0)

# 

殺 遺



整膓・殺菌・消化・健康保持の効果を徹底せしめ得たる製劑にし て、各種膓疾患の治療で豫防乃至老衰防止に對して著効を收む ることは、臨床醫家及び實驗家の齊しく確認さる、所です。 び繁殖力の旺盛なる乳酸菌を主潮とし、二種の糖化菌を配して ピオフエルミンは乳酸菌療法説により、從來類例なき生活力及 饗店に販賣してあれるの 髪鯛の二種あり、各地有名 國防の積極的充實

大人、黒務部を新設

公開黨費制度の實施をはこめ

憲政擁護大遊説や政治塾建設

政黨更生へ

たごそを、こうなこと、これにより数と、日本の土地にあたくなって見ればどうやら今後温光館行は東止めとたづその最心の所なを繰って見ると、「最適果館行は東止めとたづその最心の所なを終って見ると「最適果の大か」

末旅行などやつてゐる暇があるかとか、もつと時局に積現

る投資だ、やれ値を実実にしるの、出入りに注意しるの適当のと、大きなものが他にある、それは毎日がごだかくなもつと、状きなものが他にある、それは毎日がごだかくない苦つかなかつた。 が苦つかなかつた。 が適の 職職はは勿論、外層の 職調に一通り目を通されば氣面計関雑誌は勿論、外層の 職調に一通り目を通されば氣面計関雑誌は勿論、外層の 職調に一通り目を通されば氣

一末旅行のない首相

寫眞をとるにも非常時の身なりで

最近のアメリカに於

退に件:他方長官の最勤は左の如(松つて神順文部大臣の實業)の省人り及び井街宮城縣知事の路(在文部省登港券新長(二三部省人り及び井街宮城縣知事の路)任文部省登港券新長(二三部省)、長年、日本の東京、日本

勢力を強化せる共産

陸軍省部内で立案を急ぐ

土要なる題目

字軍を起せ!

性所事長より認動的決定の結果を後二時より本部に幹部的を明さ安

沈默を破つたフーヴァ氏

は無様性的なものでない、即ち人退 扱つてみない版で、社会教文学者を子類の配友であるとて社会教を配動的に 銀下から引放さないと同時に、前

民戰線內閣

五の心質素、急進心質素の議職は全く衆の官報を失つた基合、百四十六と自

扱け道を作つてるる、要するにこの

歴立ウプサラ大 ・エドレン氏は ・エドレン氏は

X

A+ HI

室野浴シークバ

し種々比談を遂げ同二時過ぎ對去

全權派遣

早了心分補前哨戦

九回七 場 日瀬アルミ四七

無役事引 の 大八七(公) (報役事引 五大・三) 五大・三) 五大・三) 大八は255888 大八は355888 大八は355888 大子は35588 大子は3558

/敵の康健/け除

休職命ぜらる

第一页,新数十分,数十分。 一一一一

痛り 加

T)

厳は去る七日の磐か協調にもとう||を撒とし真の社爵上義時代の實場(パリ十一日開盟)ソランスの銀||歴遊を目的とするものでなくこれ 各組合と展主との健康指動を行っをはかつてあるのだと観聴するも

前途暗澹

てゐるが選邦せす今のところ同一のもあり事質とすれば顧散に解決

下げを強行した上失楽戦済ズヴエルト大統領は弗の平

の海峡を行ふ様定であるの海峡を行ふ様定である。り年後四時終了した、十二日も

糖収、保約案に対する土炭的1年 地上代の法権関部に関する数明を 地上代の法権関部に関する数明を が、他用大使の創いに次いで現 の場所を関する数明を

駐瑞特命全權公便

所しなければ、 は一時を閲覧では、 は一時を閲覧でいた。 は一時を閲覧でいた。 は一時を閲覧でいた。

妨 能 治 一舖 熊 渡邊 海網 藥房 東京市縣市區廣町廿一番地 過勞の痛 脚咽喉の痛が肉の痛が乳の 事乳のコリラウマチス

朝刊八頁

金川十銭 金二十銭 金二十銭 金二十銭 金二十銭

なに

で

の「新國家職」から脱脂した「ラ

となり、或は産業の合理化運動

現れかりその最も合理的に組織

とでなく、活かして関ることであ の話に一日の楽しみを認つてゐるのだ、鄭霞はフーパーの釣上げた上等の欝を手まねしてゐるり砂點級はハーパート・フーパーと當時の砂點隊ローレンス・リッチーの雨吹は鐵局とは凡そかけ離れた復しり

「物は使用されるだけ使用せよ」

の無駄無論といい心にけの根末 たと第方とが、程権的無駄形除 は、多数の国民がこの心臓で 物でもすべての

適切な語を考案して関ってる形の自分のことを透鏡文士などといる

の脚場であつたので、脚部の腕の攫り方の脚場であつたので、脚部の腕の攫り方

海薬の正體がどんなものか、

と……し、よのは、これまでが人「有頭なことは、整脳領法とし、いることが知られてゐたが、果」はホルモン類がつくられ、性ににいることは、整脳領法とし、これまでが人「有頭なことは、整脳領法としている。

じあつて、各幅原次学

結婚を奬める國 郷の基に健康な婦人の優質にあり 結婚費を貸付ける 真相の聲がかりで、 獨逸の婚姻獎勵法 金幅の意義が含められてゐる、だ 伊國の巧妙な宣傳

続とかいふことは音から言はれ

駄排除

來たことであるが、世界大戦名 無駄無餘とか、浪費退消とか、

人能、家庭能な難念から此節

としるではあつても、他の段版と一號と自我に使つべきものだらうである。イタリーに於てもスッツ ので、郷う酢臓病の遺様的結婚派ところではあつても、他の段版と一號とり過奮の意実込みはもつてゐるの。 むり担害の意実込みはもつてゐる から結婚は法律によって影響する 尿畿道に 戦励こそしてあないが、民族の繁

である、蘇聯那さく表面では影響 が、日に日に多くなつて来た事は 男子の職場を占領し、煽身神迹者 率を高めてある我國に結婚を原動

處理統制確保に就 於ける産繭 尹京畿道產業部長談

たり、旅信その他の版で常にといった場合には楽型版を割

でありました折枘、今回本房上に於ても之が善處方に付研究中に於ても之が善處方に付研究中に於ても之が善處方に付研究中

出ないのほどうしたことか モれ扱 か猫 身 婦人は盗々もつて

が顕建や伊太利の標に積極的

近年

商賣往來 にもない

0

ネオギーの真似を却で出つけるのではなな、それを私はどう説明したらよいか、

٥

液臓器で若返ること れること

そ……れ から振物ホルモンの角 そ、そ返もこれで独則される。ことに配めいまで乗変をめてしまふと、のまね。すぐ現れるが、いくらよく効くといって以前に遊院り、これでは高値を振って楽。 も、三日や四日で海病強健の目的は達せない、まて楽変をめてしまふと、のまね。すぐ現れるが、いくらよく効くといって以前に遊院り、これでは高値を振って楽。 も、三日や四日で海病強健の目的は達せをのほどのことはない。私はたとへ、 られぬから、そのまへが過を避けられる。ことに配めてほどのことはない。私はたとへ、 られぬから、そのまへが過を避けられると言葉で行られやうが、こんな素を ら難けて服まれたい。 なんこすとうらぎがこよしよ。

今までのホルモン都でも、一配のホルーネポギーの資管を却て出つけるのではなエンよりも、二配は上のホルモンを含む、いかと扱わる。

で用ふるホルモンを歌をかいっとすれば、それ、順人だら反応はすぐ戦る――これが優がホルモンとかいってあるが、私が、最は元々しいが能の説明は省さたい。

が動きホルモンとかいってかが、それ、順人だら反応はすぐ戦る――これが優がホルモンとかいってかが、それ、順人だら反応はすぐ戦る――これが優がホルモンとかいってされば、それ、順人だら反応はすぐ戦る――これが優がポルモンを書いてほかにないと思、ホルモンの報及だからである。

は他物ホルモンを書いてほかにないと思、ホルモンの報及だからである人、関ロセンで、また質能にその加力が、一端、または下側のは行しい人、どことなく場びている。

も旺んにし、體力をつくつて、真から鯉しかし、植物ホルモンで騒のホルモン

開入に御注意

人にすゝめる解除になれない。娘を百萬遍下げられやうが、こ

頭のさかるほどである。

私が、からした文章を華して大衆に統一般められたし島品は歌力あやしるのさがるほどである。 なる師名にて傷品ある故弟分詞をつけて

を要する

敷地に闘す制限

し見面積于平方米以下のもの
し見面積于平方米以下のもの
に、 数型の関連の三分の二以上
関係壁の構を有する道に接せる
もの
の に続するものと認むるもの
 近、 社業物の銀車は特に道知事の
 近、 社業の地盤面より高くし、
 荷道であって共産に関連して重る
 近、 とになつて居る
 近、 とになつて居る
 近、 とになって居る・
 近、 とになって居る・
 近、 とになって居る・
 近、 とになって居る・
 近、 とになってはならの
 近、 とになって、
 で、
 で、

何なる構造二、建築は

或る有名な類型指である私の知人から 鎌者 藥學士 宇知山唯一 波勞體

まり、この奇妙な選問には悪いたり、 ボコーンを飾いつたりしたが、この廣密のまと、 ボストンを飾いつたいだっとのなりを記したり、 ボストンを飾いつたいでありたが、この廣密のまといふのも繋ではなからう。 た、いて調査に向つたアメリカの営場者は、しかも、かうした事質には、美に付すで、 ボストンを飾いつたい何の思惑あつ 昔の人が誤解や解釈の解釈。生眠、数語 で、こんな珍優歌をだしたのか、月蓮を ○○までも服砂で、傷滅を治したり、若 ない、のは、第一種などの生眠がない。 したかも、かうした事質には、美に付すで、 はり やがて、ガストンを飾いのを襲上の大怒県 しかも、かうした事質には、美に付すで、 はり やがて、ガストンをかいるのと思いなのも思うる。解釈の と現代した。 

次よ月階でつくりたるもの 植物 皮脂たる耐質でもあるの たつコドモネオギューは 植物 ホルモンは、雌物酸の吹き キャギューの観弾を断肝し 外と思ふほどの衝光を従られると覚する

ネオ

虚弱乳幼見る数はれる

れぬ見にはぜひ一度験して載さたい。夢「の往意」を暴勝あれる外く、背脳の縦い見、光流のない見、肥」 正仮立一囲五十銭。た立就に説明されてゐるが、まつかく良く 違つてくるはずである。 「進つてくるはずである。 正償金一圓五十錢。なけ右側の「勝」

後用三層九島町後

SN6D-151

企り願けさつばり

は旅客十三萬六千餘圓、貨物サニ 鐵道収入、城鐵五月中の營業成績

同期に比し旅客三割四分貨物六

面、批卅五萬八千餘圓で昨

干面の概念事故に刺観され、羅建一ら層生を見習の問題、シベリアで 「例、「側弦面の金額壁さんによる非」は『無数昨のま、診納投機を置けるが厳重な取締を賦行してゐる折」 酵生を稼ぎ大正十二年歸繼後も引

分の増収である

曾寧木商組

― 鄒迎また歌迎、増収交増収の【城津】まさに北鮮景深総舎図だ

城鐵大增收

つまく散財

選手 成典者では狂犬病の象所 | 羅津著では

7間は低日午前九時から午後三時

羅津の悪人夫三人

詐欺横領で局送り

金光教講演 [韓基] 命

大晴れ甲種合格 命 寧の徴兵檢査

昨年より成績良好

なぎに至り、

不日頃まで

皮膚鏡もチャージの前に兜配り

右 武等 賞金各頭行回宛

八幡市技光長馬町二 宮 永 騎 夫

して水質やの他を調査した結果大「度所完成と栽に五萬間を投じて第、嶽麓の本場設理解から地跡を協議。ので愈と今秋目下下事中の第二総。紫麓の本場設理解から地跡を協議。ので愈と今秋目下下事中の第二総・「考」 長数近水電纜戦が数水魚 「丈夫数は青つと祈認をつけられた

**今秋五萬圓で造る** 

物能つてゐる一倍の増加を試し情熱過度を如實に

も超気となつてるたもので木材都|位置、建物共に最適とされ内部を

長津湖に鱒

轉出者も續出

草分け連六百數十名が

今では十分の

一に減る

|年入版にが非角でリードでは、「店で現金五十回に換へて鑑典に関する。」 | 「店で現金五十回に換へて鑑典に関する。」 | 「店で現金五十回に換へて鑑典に対し、 「はいり、」 | 「日本の一日本の一日本の

新築の計畫

野球リーグ戦

十三日正午から公設グラウンドで(豫定を一日録

参加チーム 郷麦、刑務所、府廳、

成大佐によって施行、鎌城、南陽||に邑に對逐する瞭標である 男大時半から七五腕牒で<u>機むぼ野</u>|道、郡経由の上來る 【曹寧】本年度壯丁極金は八日午 | 間は多少延期の日な

京城日

開城

ト設へて好成績だと唐々顔を出し

會寧野球大會

十八館路につ

朝鮮打撃追撃川郡帯川邑、曹親官取暦所内、金、郷野で延野大皮膚飼にチャージ

**外科耐吸皮酮伯索患者数是百治百糖** 大連加热速可三丁基 大連百貨店二階 王

埼玉縣大澤町二丁目 金 子 八 十 八

まくさいて他人にするのを選乳輌守山町大字が穏生 許久 仁夫よくさいて他人にするのを増チャージ 機械市保土を谷医領向町一六二五番場 山本 日出夫 | 佐備時はチャージとキメテ良くなほど

製道残る

東京市本郷延崎明町三八五 弟 木 優 店舗がたの要求科学が生んだた様子ヤージ のお上が東海子側可加の内 一〇 田草川東三郎方 鍋 子を音を指すりませんだた様子ヤージ

右 參等 賞金 各五国宛市本那届前明三八五 弟 木 哭

自由本被告人同志の促手

等を認めて第一回公戦を終った

**咸南漁聯** 

件ひ現在間事が所内に併置され

九千九百四十一個の増加である

城津貿易

は十一名の顔段によつて組織され 配配造が樹てられてゐる、同組合 である木材商組合事務所の獨立設

てゐるが木都爾摩の御そたる連中

**運延に起因することは勿論である**| 去る六日各地主を集めて交渉した

結果何れも坪當一個程度で離波方

かてゝ加へて都附による家屋立返「に甕まりつゝあるので戯地一萬五川直で登力のない者も相當に多く | 承路し、一方有志の客附金も顧訊

**冨寧は大繁昌** 

施工の準備開始とゝもに

早く単好景氣爆發

その名に相照はしからの不況を持

羅津商し會

▲移出『五五、九三五國▲移入』の組合で從つて事務所の獨立問題。「城津』五月中城建設貿易額は「はかりて翁彦的第十では實際原一

思思想の清掃

明川、吉州、城津を廻つて

筒井警察部長決意を語る

金米のる街 日朝上道、福女殺國計畫に關

(注意) 同文句は抽籤にて决定

李杏香 一本 壯 々 長 及 爾 資 新 豬 壯 員立一會 一東京日日 新聞,大阪毎日新聞社員立一會 一東京明日新聞社員

筏と陸上貨物

**八理球** 

三日間シーズ **巻高まる** 

||寄生虫や|

に對する

皮骨内深く

取締徹底し荷動きも明瞭

と若い部長は経織の一端を洩らし

5の地方も、属価健全な透腹、部に張むはすである。 リカナルはならぬのであるが、大いになすあるの扱心を泥した、 リである。現地や音別は素晴、かり細んで並くが壊される事長鹿 リでのの既的掃除に祭めるつ。方を一選し、新弦地の識融をしつ りである。現地や音別は素晴、かり細んで並くが壊される事長鹿 しい静腹をみせてあるが、こかり細んで並くが壊される事長鹿 に関する。

大きな仕事

江陵普校移轉

めて强化工作を躍り、從來現魯凱

るが、商工會ではこれ率視緩慢の|の他官公署質助の下に観光協會 冒傳に遺滅なからしむる一面に呼びかけて急速設立に巡遊

新加面宮昌里北大有ことを機能に一須附道師に決定近く着思の

「威夷」偶踏生にお灸 **偽醫生御用** 

歌迎、パンプレット贈呈等雑律形| 設立することに決定し

**兀山の貿易** 

總計三百七十萬圓

**育魁金貨南一派の赤い事件** 

出寄、遮飛人から配名、敷盤、ぽしゐる

時の記念日

**▲拳統** 二九點段傳所長、同金 **野秘栗一郎、三七斯野商店を 駒銃 三八點湯田一窓、三七** 

成商の時計調査

平均時差五分餘

四月からこの制度を除上にも及ぼ

し内國民物連搬器を銀行し流復と一般を正確に捕へる過車に

これに力を得た當局では更に今年「國境地方における貨物の郷散狀況」

がでは六日午前野では六日午前 射擊

も明かとなり、好成績を収めた させてゐるがこれまた効果をあげ筋がれたばかりでなく流電教諭 させてゐるがこれまた効果をあげ 都等を詳細に開影に記人の上陸出

會寧稅關の名案…

**渗透療法**の真髄

清津で公判を開く

移入は六十五萬三子四百九十回を

川川崎、崔南州事所職、松本極事立一を配めた、かくて明廷、

出九十一萬九千人百三十四四、韓一田は五十五四二千二百九十八四、紀元山 五月中に於ける元旦監督(日八十)四で即年献郡に比べると(元山)五月中に於ける元旦監督(日八十)四で即年献郡に比べると

嚴そかな入所式 の式に無み供参則官(修練所長) 時となれば全鮮でも珍らしい、 開所の許によって暖かに式は始 ものと誰び三大樹に数へられ 年を超た古木で天然記念が

したがその結果は

は八日例年の如く時計調金を復施

の平均時差となって現はれた、昨

中のところこの程へスし監察博士 【元山】道立元山傍院小兒科長內

しく不良であるがこれは消防サイ

白の販売性の悪化に就ていてある

り所ではビラ豆腐、マイク取像、「共同就作者で官民婦人連も参加、「佐興」第十七回時の記念日に當一後一時から臨神水観路戦内の分離

總勢百餘名で田馗を行つた

店、肉屋薔菜組合主催の棚屋を「下棚」來る二十四、五兩日依

に ないと、 神・既 さないと、 神・既 さないという はんしょう はんしょく はんしょ はんしょ はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はん

BSO いで能く効くのが 特色である。

早 ク 夏 ク キ ク 夏 ク

今(計)

浮世離れた仙境

上院寺に登る

道の誇り僧侶修練所の

觀光協會 商工會で計畫

用一年前九時二十分やつと上院等に著

手手明確長を記ず 李命ず(四日別)を命ず(四日別)を命ず(四日別) 変 と 、出

田の野原ではない。 整然は一般ではない。 を選集ではない。 を選集ではない。 を選集ではない。 を選集ではない。 を選集ではない。 を選集があって、共に、 ではない。 を選集があって、共に、 ではない。 を選集があって、共に、 ではない。 を選集があって、共に、 ではない。 を選集があって、共に、 ではない。 ではなな、 ではななな。 ではなななな。 ではななな。 ではななな。 でなな。 でななな。 でななな。

なる。 ・ 一般にある。 一般にある。 一般にある。 一般にある。 一般にある。 一を、 一を 本舗 山崎帝國堂 

の理論

行れず痛まず溶逐し早く良く効く皮膚チャーシ 標語當選發表

右空等資金五拾圓

短化策を練った

**阿島縣安遊班下川海村** 

四の初顔合せを行つて協質館組織 職容を整へることになった 各委員を選任し一兩日中に第

忠北地方は稀有の大旱魃

植付難で農民嘆息

しやお天道様

業協會総合の商圏接護大きは十一四月自三十八龍六、

道民擧って賛成

州に後援會を設立して

大郎」面面組合、移人面談記、

四月以降本月十日までの除水量は

道標を怨む聲が廊所に謝も歌る地と昨年度事業である既に完成近

古、更に離る協議の結果、道師舎での後の楽韻寶事業進捗經過を報

全鮮庭球爭覇戰

し左の通り役員を決定

**慶場で調製した白米一升を神想や奉献するこになってゐるひ、十月中仰成機期に削削続代表者が智利をなし近診事試すの諸直嗣・小猷重楽改長、川県氏千總代等の手で田稲を行すの諸直嗣・小猷重楽改長、川県氏千總代等の手で田稲を行** 健場番で面積は本番二十坪、品配は忠北代表品種の「靴」を とになったが、動作地は流州郊外四州面山北里の道に事試 務、中野醫祭南部長、居原郡守、曹野邑長、閔、立町、松木 熱行、終つて同九時二十分から定知事、楊孝興官、松島内選尾、黙極の設備もなり来る十四日午前九時から地面景を

と今秋の新等祭に新設を直船となる清州神祇に奉献するこ【清州】忠北道では本年の新しい計選として神師番を奉助

研究部には特別、普通の兩クラス 機には皇帝歌事。成小成を設け皇帝 の研究を避扱することになった。 一科の研究に上力を建き時々部間 a期き來る十二月七日纒つた國史 努め、糖母の研究グループ教科

押島部に関する訓話、また衆安所 任規爾小學校では汚れなき竜心に

の帰調が時ばれてある時仁用等町一の国家的辛苦の膝を想ひ起させる一りきる意識と含念の撮影につとめ 四条機念を別にしょうと……まづ | では、推神の道によるまこと | 元 | 中華とした指導に全力をあげてを の敬意版理々を確定し、しかも指一りいづれも國命の明賞を主眼とす ことにしてある、交種関小型技一全く精神循語も「まことの道」を

各階級制を通じて日本精神。飛躍日本のスタートを切つた當時。を行ひ日常生活の敗害非常時を表 に川附近にのこる日露戦更を探り | の施政方針と相俟つて見蚤の教育 | を開校の特色ある指導方針は教育

【仁川】低報、吉田秀次郎氏の首 仁川私立普校

校舎を無礙で離り渡しを覚眠楽すっで協議の結果全館一致で異館信義であるとに決定、選挙町小學校の「影が附氏の際低に伴ひ遠岐重役爵」 巡察技は既に松脱里理立地に建設。場による内鮮酸和の結晶、私立密 【馬山】製水館北水野紅長と網車 馬山製氷新

れた江殿道方面からの漁部院百髪・組成協力して左記により宣傳を試、日時の記念日に「時の製養部」を賦、徒げ早朝院行列を配し監飾した出入する様は實に感勢がよい、そ、警髪の軽減及び悪事、常年動消跡 金泉・風等女堂校では云る十、時の三回舞報を越みの楽説技生数十隻が無数の赤喉を動しながら、湘東、十日時の記憶は邑、郡 で謝語 で訳る のピラを紀布 4 豊通校技小学校 次同 面では十日の『時の記念を記念を書かれる書画を作り、本書店と、春れて安の十時今一度サイレンが 進守・べきことを記載を登録・次の 元 一次 一面では十日の『時の記を記念の雑か』と記念の雑か下された のピラを紀布 4 電通数技小学校 次同 面では十日の『時の記念の雑か下された のピラを紀布 4 電通数技小学校 次同 面では十日の『時の記念の雑か下された

型像の外に三七三年の増発をなし、挑ぶ、剛氏の決談を得てこゝに第一帳号うと、、、よどや「シェントのであるが六百三十九」氏を社長に、橋本安市氏を破跡に「勿談選よも源だや人たできながらことになってゐるが六百三十九 氏を社長に、橋本安市氏を破跡に「あまりも如はつてゐるので海上は |敬記、辯脏敬能||、厭敗能|| 踏み出すことになつた|| 「日七十一坪條の校舎を建て」「陣容はなり華々しく更生の一歩を

神饌省を新設

有志揃つて田植

学を域出して肚親を極めてゐる 世物誌(立ち上り時ならね工業曲 戦場のやう、なほ補肥製造の馬森

今度はエヂプト

取引申込み

主として水産物の斡旋を依賴

釜山商議早速手配

### 先づ協賛會を組織

**本格的準備を進む** 

思人だけで

汚れなき童心に

となったが小規御観主位が中心と「そのかはり當初のダイヴイングと」を軽工させる食足である。 とてったは絶対の職権で再起底艦(十米夏水路ブール建設方針に受臭)ケッドに活訳の機能度が用プールを出力、作取、本年質地能扱の粉)なって破残の結果、推翻感染の五(全球人月上明までには大新町グラ

八月上旬店開き釜山府民の願望成り

世爵を賦し嚴後陥の相談をする宮のた。近日中に第二の關係者打合 外して經費協用をはかることした

國家觀念を强調

非常時乘切る意氣と信念

仁川兩小學校培養に努む

の下に懸行、他に設備に取扱って

|顎の脈が||押に入り運路が説をおし「下炉景」:・・・): || 【大郎】 || 慶北東海岸方面は廊上夏 | | 長には青年敷が飛び歩いて時間の | みた

てゐるが殊に九龍浦は有卦に人つ り時の概念虚調、永い日も慌しく

万以川州福興一行二百録名の大利

海上はるかに赤旗は飜り

慶北東海岸漁場は大當

東京大相撲

に四州産開新里 道度消費移所 奋「生徒の田板を敷離する に四州産開新里 道度消費移所 奋「生徒の田板を敷離する

今月末進水の豫定

【釜山】影遊院止と漁業保護のた | 尺五寸二、氣筒四〇馬力、 金泉野球リ

生殖腺の機能減退を嘆ずる人

進

梅毒に罹病したことのある人

ふる人、大酒、 血壓高く腦溢血、

喫煙する人

中風を泛

| (金泉 | 體育協資野球部主催野球 | 1 金泉 | 體育協資野球部主催野球 

で乗りを配布本書通券投小券投 | 「水同」面では十日の「時の記でけってき」とに記載せる歌手 なった 進守すべきことを記載せる歌手 なった から奈生花に「観々文」の印刷町 年間六時正年、午後九時年に参 から奈生花に「観々文」の印刷町 中間六時正年、午後九時年に参 から奈生花に「観々文」の印刷町 かった

危險な兆

も更生する發見

ドもを聞にあり、その他、質に豊生師元素」とも群ばれてゐるます

富に貴重な事数を持つ成分がある

小欄では不可能であるが、とも

この海草のめづらしい楽戏は

つ一つの成分の解説は、からし

代別が用を促進する数などから「

大比の徹前の成分の中には、

一候 動脈硬化に罹る素質のあ

二十歳頃で老妻兆候を現すこと

の硬化は柔らざ

ため八日砂上城 曾譲出席の 人の動

|新氏(北鮮日々社長) 六日

### あったいろう

悲略な中風なども、平常から充分を避す脳溢血や心臓脈弾、または

**「後一時から小學校讃覧で高女【番州】道教育館映画班は六日** 

見に際し高田郵便局長、野田、「清州」過數の認識可能論功行 あまりに懸念といふよりも、文明

湾)二十九四二千五百回を襲行 1月 暦では記一回公政二 べく者々準備を進めてゐるが、

の精錬機は本月中に完城 ★人は結核を上園房と願いて

かと一艘疑ってみる必要がある。

た人、極端の經験ある人、大酒 特に、今まで不量生な世話に在

いかにする。

海草精劑

海貴來に就て

の機械を順備して軽くは酸表せぬ 特に、機狀を強いてゐるが、紙曲

ら若込るからである。脈形者から

しでもある人は、高値限ではない

動員でサイドカーを飛ばし管内【馬山】保線區では九日醴貞總 **収自側車ボンブ購入数として参** 肚羊期からは、結核の恐怖は割らるものは主に選毛期の男女が多く いで、その代りに麒麟硬化症、高一型爆する人は、最も危険率が多い || 「一般にさいされる。 || 上年者

一せねばならない。

から、早選に信馬を下げるやらに

正線に亘り『交通事故防止管傳 接続である。

に依つては、これ以下でも危険の 他既は百六十三り以上を危険と 、年齢の進行に

必ず間になるといふものでもない 数子散になるといいものでもない。 ち、数変ある毒草を養見し、それを を対したものもあるが、これも おそらく古代は深い歳月の総範が ある変があると言はれてゐたが、 のるが、職職機体 | げてあた者が作ったのであらう。
※が心悸だ此な限 を用いて自ら整らずに腐敗形を下 機構を盛し、また必要を同復せし

ので、この御草から撤出した成分はまつたく知られてゐなかつたも 行の研究所で養見した血腥低下着 パートにあるが、記しまずれの母の歌謡を唱楽してあた我が得合洋 二十旦の作風、全國の空間及大子 ★ところが、偶然といふか、 

最人四郎、 

大田校で一ばん早く、 
・川藤一千二百錠人十 も、その腹科を特殊徹底に求めて 古來から街道の戦略のものは、で、この主要は今や献来一流の大 體驗者の歡喜 所では獨特の抽出製料技術に依り 返り撃として質用されてある。弊 病院では脳道部系、老養病薬、若 茂する祖は相分を上州とした機動 本題區南坡町五十一。河合洋行。 安値に傾付し得るのを促びとして 施財をは高等有機生態作用で築

文ありたし。だっまたは振智に観 龍人四個, 六百四十八年人六個、 は無好をに述は下前接製造だに往 り造科不要、代金別換はハガキで 等假百九十二路人三國,四百人 1個。三千四百餘人

### 合 建设二萬四千回、合計三萬五千四 松即设四千回、影师设七千回、建 任 《外即设四千回、影师设七千回、建 を されてるるが、その 放因は 葉 忠北麥作 身の毛慄 歸國中國人が語る 蘇聯官憲の暴戾さ

### 主催 京城日報釜山支局

二十一日釜山高女で開く

釜山庭球聯盟

より発定量所に順定し、移動新祭。を述入することになるので市民も、即せ、優姓召長、邑宮局市な別路しての意味と適保に再出他二十八百、内明別化の上にもまた地元結州市、安倉地航客等民間内駐育力指州係の合地主の線推的変換機大・「内国」、内明別化の上にもまた地元結州市、安倉地航客等民間内駐育力指州係の合地主の線推的変換機大・四日、の公立、道際会移動新発管現は道、館に設、駅収組合節以、度、現場出土の設定を設定した。

【清州】 既報、百萬忠北道武が待 | 帝州甲出があるなど、富武協力の | 競しようと九日午後三時から関隊

積極的の支援工作

坠高ければ命短かし

■新野に
脂肪線物質が付着した | ある。此の海草は、今まで日本に が低い、血壓は病腫 へに躍る増して、 の有効さは、薬物界の異似とされ てゐるくらゐである。

は脂肪線物質が沈高する故と云は

若職物が苦損し、血管壁に

便秘のほせ、 柔らげ、血壓を整へる必要がある。 る人は直ぐにも、動脈の硬變を 夢を多く見、孰眠できぬ、から 一十過ぎからの肩凝り、めまひ、 耳鳴り、頭痛、頭重、気根な 四十前後で脳溢血で殪れる人 夜は寢つき惡く、す

られてある。

我が連合洋行の研究部では、階

に此の複雑様まる有效物質を完全

に捕り出すことに成功した。荷貴

的に作用する網票でありうと考べ機能概まる多くの有效成分が終合

に加壓に注意をしてさへるれば避して硬はり、脆くなった即晋は何時 製器として働きさかりの 肝年者 | 置のどこにもそこにも放場が総出 生してくる。しかも、帰力を失つ い。早くもいろいろなど強風象が 來なる薬物がそれである。 大注目すべきは、海貫来の服

は実験に発れさせる人が多いのは \* 竹られるのに、血脈に触する注意 被れて、戦処となるがわからない
けられるのに、血脈に逃げも違意 被れて、戦処となるがわからない
けられるのに、血脈に触する注意 被れて、戦処となるがわからない 能質においてあるやうな定状の少 なのは人の知るところである 光質するは、まつたく間の組織か 梅貴來の服用謝時にして、性識が 年になるも性性語にあっても旺盛 要能率が次第に退行するが、その を下げると同時に、いろいるなど、因たる血管性の硬態を柔げて血腫 うちでも特に性腺の何度である。 健康にして投資を得る人が、を

の胃腸非常時を克服して强力なる健康を確保するためには、膨くと

も治療薬アイフによる胃腸更生こそ残下の急務が

しはないてせらかし

だ

Ž,



# だが治病工作は全面的に

が治癒せぬと言つた場合が多いものです。これらは要するに症狀の ますから、酵素剤を補給して消化を助けるのみでは、胸やけ、胃痛 爛れが出來、胃腸筋肉も心緩して無力狀態となつ 不攝生が遠因をなし、刺戟が蓄積せられて胃腸粘膜の炎症から此や ところが慢性胃腺病に於ける障害は極めて複雑で、永い間の無理や るなら、正しい擦病のためには飽くまで症狀を精査し、 **腹痛、下痢等が好轉しなかつたり、 誹酸劑だけでは消化不良や下痢** るもので、かうした獨跡がどれだけ病氣の治癒を遲らせるかを考へ 病工作を施すことが必要でなければなりません。 一斑を捉へて消化不良だ、胃酸過多だと決めて了つた認識不足によ てゐるものであり 全面的な治

町之西谷水凊區東市阪大

順 和 舖本賣發 商

参三OO五·二OO五·OOO五(束)話電 参五四三阪大督権 地番丸町砂嘴區鄉本市京東 京東 番〇一〇四(川石小)話電 番八八二二六京東替振 目 丁 一 通 縣 山 市 連 大 番八〇六七話電 番五六七三連大替掘 連大 - 價 -- 藥

ですから、胃腸を

(未粉) フィアはに病雨の勝き胃 図 三 分日七十 銭五十七 分日四 図 五 分日一十製行 銀十五圓一 分日八

(列錠)フィア胃健はに門専病胃 一 入院十六百 | 随 十 五 入解五十七

▶りあに店藝名有の所る到國全◀

早くも凄い前景氣

総職をしようとの識も起つてゐたつては匿るといふので近く市日の

開催するので本業に避支へがあ

半島の寳庫を貫く

中央線豫定地縱走記

竹領の麓 -- 間当の浮石面、海拔 ]る。このほか中央説の沿線法く酸|

と山あで込む人々激増

こんな工舎に徴任してゐる。はじめは三殿の理論のるに足ら級安静師が、人の男の旗總を一手に引受けて刈漁等に一歩足をよみ入れると籤、人の男の旗總を一手に引受けて刈漁等に一歩足をよみ入れると籤、気の那樂館がたつた一殿で観七千五十川は藍の名産地 一産業富 祭の那樂館がたつた一殿で観七千

とになった中央観であるから、

阿彌陀如米を一地も否定も生活とは練選い田舎の一

であるとしてゐる他つてこれが質

**張力したが火の魅りが早いのでつひに鬱盛県を半縮して漸く轍火した、採出は欧四黒園園らしい消火戦で消火に敷めたが水郷が強くて効を奏せず、(経首名の鰥康は手に手にバケッで水を汲み消火に十一日年朝土隆郷、祖山郷源『国で修理中の一、二四度『副時の発覚でのベンキに引火、熊鼓に渡いて十一日年朝土隆郷、祖山郷源『国で修理中の一、二四度『副時の発覚でのベンキに引火、熊鼓に渡いて** 

龍山工場で修理中

本少年勝理事長二荒芹徳間は碣一就て朝鮮少年贈の結成上祖々意思

一荒理事長の入城談

燃えさかる朝鮮劇場の喪火事

からの人前も少いので、お館段も

扉内各地で内地方面

『年は逝くまで寒かつたのと、春 | 月初めから毎日「在荷少く良品人 | が今年はまだ小さく色も悪いのが

ナス、お大根など値上

土ねぎや馬鈴薯は値下り

た、角節順場では映場中観三百名の前順場を全塊し間五時半飯火し

だけに野犬馬が殺地に害町入口は結果延帰はまねがれた自然である

沢日コドモ大會

南極探檢の大映畵

旨と関力附近の延続防止に勇めた 部長下家旅事器主任駆けつけ消防 釧路者から木村署長以下各段部を

はじめ全員、警察部から下村勝宗

鍾路に眞晝の火事

木道: 「解建、 建坪 二百五十坪

|面低で、ナスはもう三番は6出||かの頼く思はれたが疲火と間時に|| 千計(対五周間低で、東京火灾根で一関半十銭)||低のものが、また||に煙が燃えひろがり、危険が迫る||水に建物に出五千間、仕點一

回便は不能

の以前の高値に比較すると大正十一来しさっな情勢である 戦を上郷ること「面六十三銭、モ」銭が銭扱しさらで特に運動を版を 三銭の新盛館に墨暖し市場は お野菜も高い

)定期市場は東京け一家に先物三 | ないので削途

間環境形に入つてお来は連日線 | 四年の四十二面八十銭以來の録高 | この暴露施は 昨年の作前 | 種りを投ふぬだのに十日に走りが

仁川市場は十年來の記錄

俄然お米は暴騰

内地は將に四十錢になりさうです

| 路線してゐる、十一日は人 | 値である、更に昨年の今日に比較 | がよくなかつたので大地主はみな

のでこの日。で本年は政府持の調節米も成力が、がすれの現象を呈してゐる所へ北

すると五関十五銅も高くなつた郷の情化で食入れしてゐるので、有

·四周三十四聲, 仁川·皇子二國

活況を呈してゐる。この仁用新一八日既に白米小質師を引上げたが一に連目の早天で早くも随付が記録 とみられてある、京城公路市場は「早監を無窓され朝鮮も低温館を興なり、「大」「「大」」ではないか「で茜の遊賞が悪く嬲西ル州方面はない」 海道、北陸方面が春以來低温勝ち

方はむしろ値下り気味であるが、一學校生徒十錢で殷謝観覧をすこと

で、「耐地で影楽二千圓を脱帯、内髪を一般江の土木蓋夏楽久保磐街("た)は大分縣下毛郡新昭行生れ、間島社 たところを手配により本町名頭に 後二時十五分京城着列車で入城し 伴つて内地に逃走すべく十一日午

學生を優待

廿銭と十銭

に引火して温火事を出し、また。





加賀物産即賣會十一日から京城三級四階ホー

本邦洋畵界の最高權威者

尾松濤畵伯展覽會

無料



微いて森新理事長からも新世族野

謝近火御見舞

神営で開端される第二回全国起席

歩と将来の方針、抱頭を述べた、

四日(書間)

京城府民館

大宮惜敗

テニス朝鮮を背質つて起つ人々

葡萄光化門一三一九番 **尺域府樂園町**二百番地

新近火御見無 育哉も難計で失慮以紙上御禮甲上候 草々 有哉も難計で失慮以紙上御禮甲上候 草々 有哉も難計で失慮以紙上御禮甲上候 草々 を放送に無中御尊名御同公洩れ之 を放送に無中御尊名御同公洩れ之 を対して、一人の際は早速御馳付御見舞を辱うし を対して、一人の際は早速御馳付御見舞を辱うし を対して、一人の際は早速御馳付御見舞を辱うし を対して、一人の際は早速御馳付御見舞を辱うし

正式光的人表・人士九 : 1四四九 **園** 

く、職盟の結束、統副を強化した

謝近火御見舞

大竹新吉

推选 三二八

全州地方法院

對鮮鐵野球

朝鮮には古くから澤山の少年團舎であるが単中

一生命朝鮮支部衛門三二

朝鮮支部

清本

日本人は石鹼を持つと、

※ 京日案内

すぐこする。

つただけで泡の出るのが

こすらずに、ぐっと握

店 員 廿二六歳以下にて市 ある方午前中本稿 太平通二十旦電本三大七五番 岩本クリーニング郎

本當の石鹸なんです。

女

文那料理 中 華文那料理 中 華文那料理 中 華

進生

京田間の選引と随かの奇智でおき により変換が終せられた。 イン・ で申込み家内公司本無代で他皇子 東京市の第四集第一一二五 日本宮地での第一年

京城本町五丁目 清元園茶舗 電本100世

話題の華市営バスの銀版

Ó

能

午後三時廿年のぞみ」で入城「色」

これですし

及相垣▲強球磨松▲併教館鏡本、小林政、土田、骨田、▲は合時間二時間▲二原打、4日 中等籠球戦

キット

かしくなりで使ぶるか

**養地** 繁荣胜加國亭上松林 桃素的正在岩地一千三百坪 林素的正在岩地一千三百坪

たしなるもって

別都合に依り至急減る 姓名 在 社会 本町一丁昌目扱の塚

京徳商業不勝した
「京徳商業不勝した」「京徳商業不勝した

けふの天気

持逃げ捕る

うで「こんなことは近年知りませ 照りが既けば野梨大不足を來しさ

とニーヤさん迷もいつてゐる

例年の附四倍もし、このまし日

| 曹龍に四番二下園の保坂が加入し

てある。火災腹因については火の一 来いと言ふので行つてみると使べ二階にゐた知合ひの人が一寸

學校舞踊や面白いお話など一版 十四日午後一時京城府民舘

[微] 王鳳麒、三夏宣三王鳳囲を必。極潔極』は北非とも見て戴き虔い「當な人所を懷しました。ペンギン」をお越して下さい無用の人を勝手 一時から京城府政館大ホール「寒さと乱をと願いなから、地郷上」「十!世界ニュース精励主生に即水田の油り十四日の日曜日」が元の南極に二ヶ年間、氷と書と「微桃館」春仕ですが、その他に キー『如二回パード少將南』先週京城の映覧館で封切られて非 」にい中にどうぞ安心してお子様方 解り易い日本語の説明でひし!~ 生の龍話、青樂等、ためになつての生々しい記録が鮮やかな樂書と 新生観表、祇山小県校太田一任先 も實際の南極であるだけにお手様 に続された最後の秘密を課るまで一の競声舞踊こども曾の可愛らし

選鹿に達し現在の職塾理解推二回 を加へ合献と変を診察とし有一度。鍵の響き存縮人の形である 推奨一度の天文発電や地質健高、の旅客は八十二萬六十人處轄市三 るには財優様はここる宮総暦一変。 軽はその必要は認められながら細、下少智の名は像りにも有名ですが物は含にその運輸建を増加し昨年。しても五度に過ぎす、三回戦戦す、雲とするので歴歌鑑の基礎三円度、アメリカが世界に着る機骸炎パー

【東京電話】 調整連絡船の旅客机 | は今秋庭庭する金剛光を入れると

開釜間に悩みとけず

から超るに至った、前して通収上

凱航を三回跳覧にする聲が各方面

送飯相をはかる意味からこれが歌 交通のスピードアップと貨客の輸 京した今井田朝鮮政務農監も内轄

援台車(制)焼く

機種的に辿めてゆきたい ~見えるとと思ふ、 海湖の産子 「乗り出して大いにそる計畫で れたので待機の姿勢からぐつ あう度種々の行政機構も敗継

本府農林局長半で卒団航後中の長 心配して入城

尾年平氏夫人なほ子さんは十一日

と製色に包まれながら知人と共に々都心配をおかけしまして……』

というのは 1

日本で一、着

**延球聯盟** 會長送迎會

| 脚庭球 選手代表七 十餘名出 群路

鐵道局の水防團

漢江の大暴れを警戒

機関、新京祭を廿五日一館であった、定刻照影開館

日午後五時から京城府民館で開

理事長、副理事の敵送運動は十一

盛大に開かる

道局は、焼車物百幅を耐設、京城 現在より場力な水防魃を組織し、 昨夏淡江の洪水で危機に諭した鑑 配を一掃することを彫目として、



の無疾消温度小便腎臓膀胱尿道 東京東京 (大き) 内地人男女三十五 変以下 「市場中人」 突性水臓 (大) 大) 大学 (大) (大) 大学 特別傘以

**サービス**係募集



刮 觸に

りサ

ントリ

0

頃格別

0

製法特許 ・健康者に「便秘」なし ・萬病は「便秘」が原因なり

「宿便」あるが為めなり ・病氣は殆ど皆「宿便」より患に 宿便し無き人は病に冒されてトレモリエール博士目の (リアニ店業各国金)

をめ購おてに店品料食酒洋・店貨百 ●

Opecial Meserce Whisky

Sery Chara (SALAD pure)

Produced and East Est

ーキス井ウ年十

COTOBUKITA CO

はキクネー

元賣發造製 二寺四高區並杉市京東 所究研藥製大六

+

京城地方法院